

令和3年度 第1回中津川市総合計画推進委員会 主な意見

日時：令和3年7月9日(金)13:30~14:30

場所：中津川市役所 4階大会議室

議事1 令和3年度総合計画推進委員会の進め方について

- ・部会員の構成を第1部会から第3部会まで、事務局案の通りの構成員とする。

議事2 令和2年度中期事業実施計画及び総合戦略事業の目標達成率について

・地域おこし協力隊事業について、地域の受け入れ準備が不十分であったこともありとあるが、どういった部分が不十分だったのか。

・地域が協力隊員に望んでいたものと、協力隊員がこういうことをやりたいという思いにミスマッチがあったということである。

地域おこし協力隊をやっていた若者と話をしたことがあるが、実に壮大な夢をもって、非常に行動的で大きな志を持ちながら地域に入っていた。そのため、生活が大変なことは厭わないのだが、自分の行動で地域が動くことを夢見て来るのではないかと感じた。

・それを受け入れる側がどれだけ答えられるのかがポイントになる。

・中津川市でも成功しているところもある。

・加子母地域などはすごく頑張っていたいており、明治座等が盛り上がっている実績等もある。

そういった地域の課題を解決できる、協力隊員と地域の受け入れ体制をマッチングさせないといけない。双方に歩み寄る姿勢が必要である。事前にニーズというか、1ヶ月ぐらいお試し期間みたいのがあってもよいのではないか。

・隊員が壮大な夢をもって、これをやったら絶対地域が盛り上がる、それを言えば地域が感心して、それをみんなでやっていけるという思いを持ってやってくるのだが、実際その地域に入って一緒にやっていくというのは、それだけではなかなか動いていかないところもある。

お互いの認識をお互い認めて、事業がうまくいくように、うまくいっている地域と協力隊員の事例を情報共有していけるとよい。

・コロナの影響を受けた状況だからこそ、進んだこと、アイデアが出てきたというものはないか。

WEBの活用は進んでいる。今まで対面で行っていたものが、コロナが収まった場合においても、WEBで行ったほうが効率的ではないかという考え方が出てきている。

・毎年サマーサイエンスという事業をやっていたが、今年はオンラインでやっという進んでいる。体験的なもの、一緒になって合宿をして共同生活を送ることはできないが、経済的にはより少ない負担でより多くの子どもたちに対応できる。

・一長一短ではあるが、こういう状況であるからこそ、こんな展開をしようという発想があってもいい。

よかったところは、その取り組んだ内容を共有できるところもある。

・そういった良かったところの分析も必要である。

議事3 評価検証事業について

・全体の各部会の統一したテーマとして、「若者の地元定着に向け、連携した取り組み」ということを掲げている。

・資料を見ると、「中津川市の未来を担う人材育成事業」の中の指標として、「将来の就職先として本市を選択肢の一つとして考えるようになった生徒の割合」が、昨年度84.4%に増えている。

・このテーマを検討するのは、今がまさにタイミングなのではないか。

・コロナの影響等もあるのかとは思いますが、地元志向が高まり、地元の中で就職してもいいという若い子たちが多くなってきている。

・まさにタイムリーなテーマを選定して検討していただけるいい機会ではないかと思っている。

・今後、部会で、活発な意見をいただき、いい報告書がまとまるように協力をお願いしたい。